





## LPガス販売事業者 LPガス工事施工者の 皆様へ

- 1、製品説明
- 2、安全のために
- 3、設備工事
- 4、維持管理

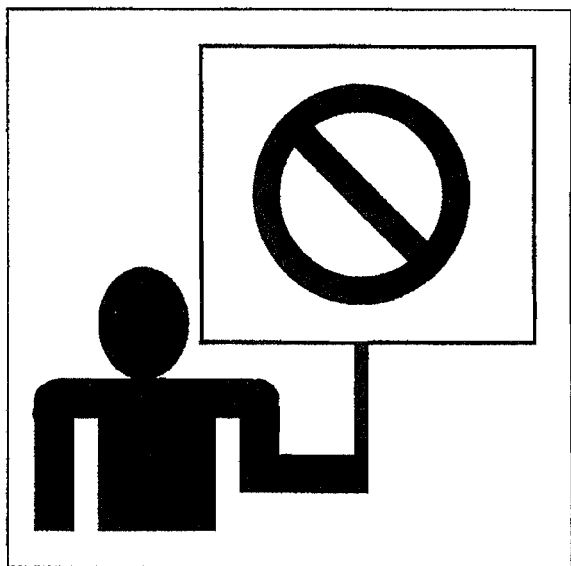
### はじめに

この取扱説明書は製品説明・安全のために・設置工事・維持管理の順に作成してあります。

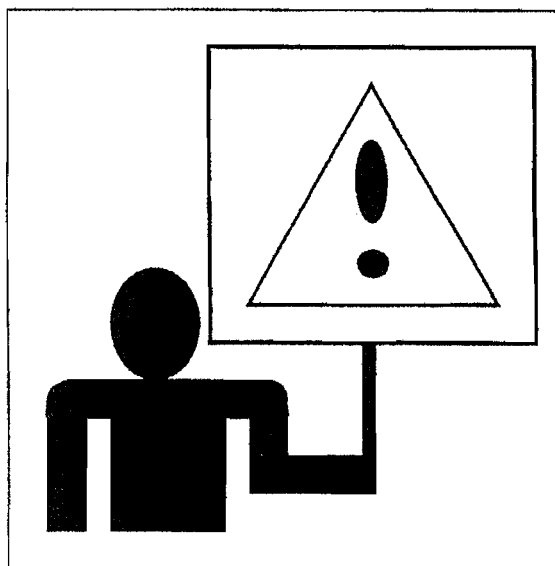
お客様にLPガスを安全・快適に使用していただくため、LPガス法・省令補完基準・設備士ハンドブック等厳守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図ってください。

なお、この説明書で  や  を付してありますが、 は禁止、 は警告又は注意を表したものです。

### 説明文における記号の見方



「禁止」



「警告又は注意」

# LPガス用

## 単段式圧力調整器

5 kg/h SKL-5A

6.5 kg/h SKL-6.5

# 取扱説明書

製造元・販売元

株式会社 **桂精機製作所**

本社 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1  
アーバンスクエア横浜8階

TEL (045)461-2334 (代表)

# 製品説明

LPガス用単段式圧力調整器（以下、調整器と呼びます）は、使用する燃焼器具に適切な圧力を供給するために

高圧のLPガスを減圧・調整する機能を有するものです。

容器バルブとの接続がPOLナットタイプ又はPOLハンドルタイプのいずれかを選択することができます。



この製品は、(財)日本LPガス機器検査協会が行う高性能供給機器の技術基準に合格した製品です。マークを確認してください。



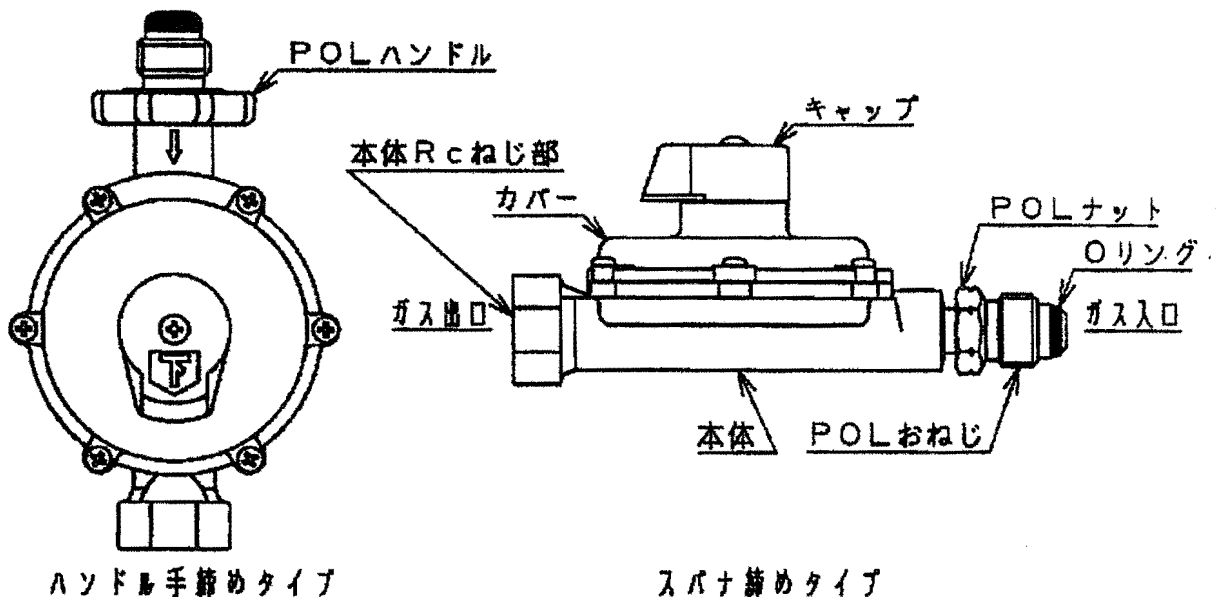
製品には「保証書」、「取扱説明書」を同梱してありますので確認してください。



製品に交換期限を明示したシールが貼付してあります。

項目	主な仕様	
型式	SKL-5AS SKL-5AH	SKL-6.5S SKL-6.5H
使用ガス	LPガス	
入口接続	Sタイプ: POLナット (スパナ締め) Hタイプ: POLハンドル (手締め)	
出口接続	Rc 1/2	
入口圧力P	0.07~1.56MPa	
容量Q	5kg/h	6.5kg/h
調整圧力R	2.3~3.3kPa	
閉そく圧力	3.5kPa以下	
気密性能	入口側: 1.56MPa以上 出口側: 5.5kPa以上	
安全弁	作動開始圧力: 5.6~8.4kPa 作動停止圧力: 5.04~8.4kPa	

〈各部の名称〉



この製品は、LPガス専用の調整器です。LPガス以外に使用すると機能が損われる恐れがありますので他の用途には使用しないでください。



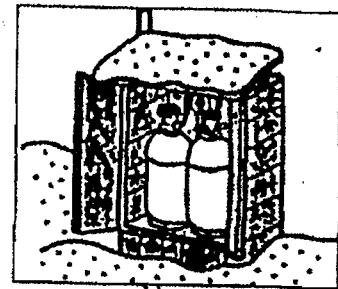
分解しない

調整器は、工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れによる事故発生の原因となりますので絶対に改造しないでください。



衝撃を与えない

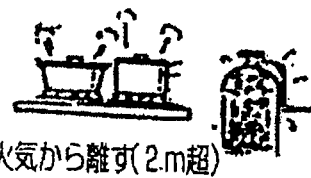
この製品は衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたり、物を当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないでください。



収納庫で防護する

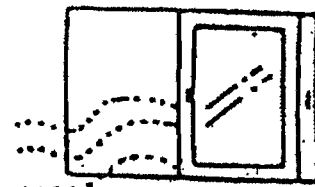
調整器を雪害・落雷の恐れのある場所に設置する場合は、収納庫等で適切に防護してください。

この製品は、圧力が異常上昇した際にガスを外に逃がすために安全弁を内蔵しています。火気から2m以上離れた屋外に設置してください。




火気から離す(2m超)


LPガス法で一部の寒冷地域では容器の屋内設置が認められていますが、その場合は、容器と調整器を通風のよい場所に設置してください。

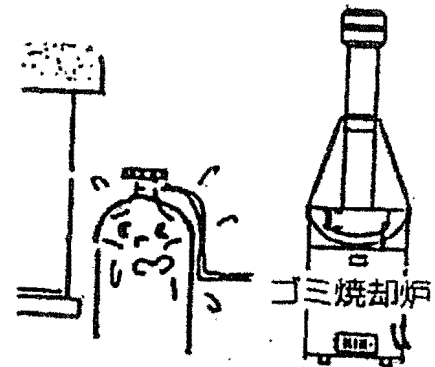


風通しのよい場所


 調整器の設置・取付工事は、LPガス設備士  
自らが施工してください。



 火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所  
には設置しないでください。




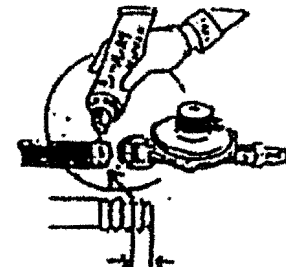
熱を受けるところでは使用しない

 調整器は、有害ガス（例：アンモニア・亜硫  
酸ガス等）の影響を受ける恐れのある場所  
には設置しないでください。




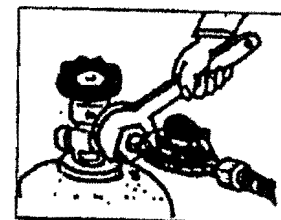
接続部の異物を除去する


 調整器を配管等と接続する際には、ガス漏れ  
等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切削油  
ゴミ等の異物を完全に除去してください。



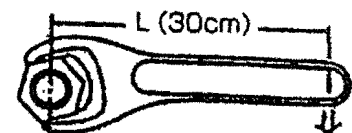
2山を残す

 低圧部のねじ接続には、接続するねじの先端  
2山を残し全周に耐LPガス性の不乾性シー  
ル剤を使用してください。



 調整器を配管等に取り付ける際は、本体に無  
理な力が掛からないよう、本体スパナ  
掛け部の二面幅にスパナを掛け、適切な力  
でねじ込んでください。

締付け力は長さ30cmのスパナを用いて  
20kg以下の適切な力で締付けてください。



スパナを使用する

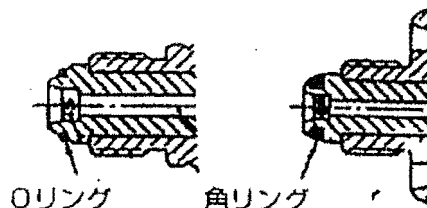
W (20kg)

配管用パイプレンチをスパナ代わりにして調整器側を締付けしないでください。



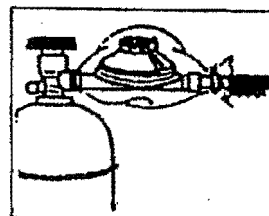
パイプレンチで締付けない

接続部のOリングや角リングに傷が発見されたときは、ガス漏れ防止のため新品のOリング又は角リングと交換してください。



傷があるときは交換

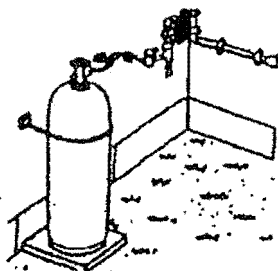
調整器の通気口から雨水・雪等が侵入して凍結することを防ぐため、適切な防護措置を施してください。



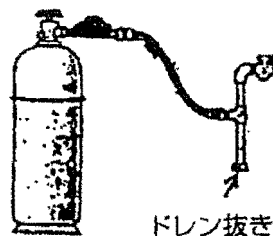
カバーで防護する

熱による圧力上昇（異常）を防ぐため直射日光があたらないようにしてください。

調整器内部にドレンが溜らないように、キャップを上にして水平設置し、継手金具付き低圧ホースを下り勾配になるように取り付け、低圧配管部にドレン抜きを設けてください。

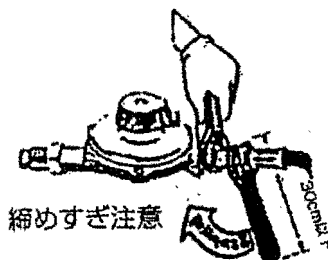


LPガス容器を固定させる



低圧ホースは下り勾配にする

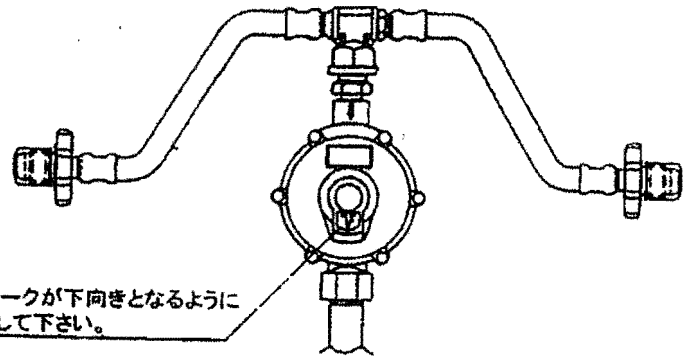
調整器と低圧ホース継手金具等の締付けは、スパナ2丁掛けで行ってください。締付け力は長さ30cmのスパナを用いて20kg以下の適切な力で締付けてください。



締めすぎ注意

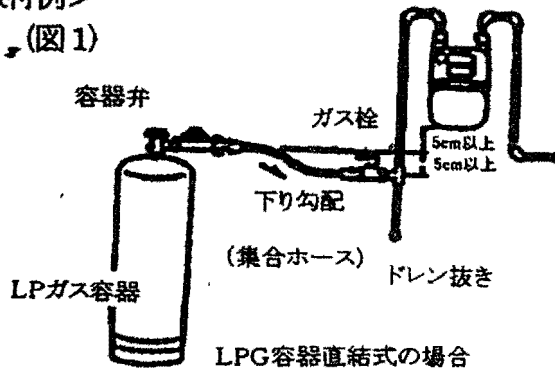


垂直配管を行う際は雨水等の侵入防止のためキャップは「下」の文字が下向きとなるよう図のようにを調節してください。

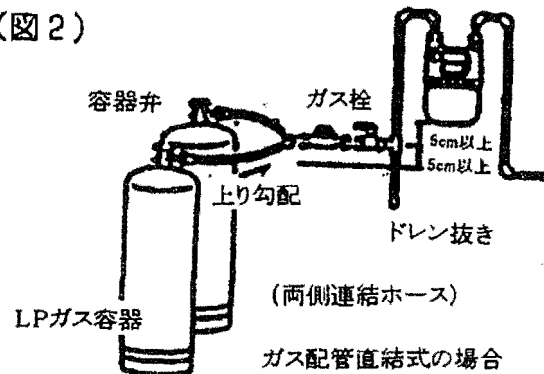


<取付例>

(図1)



(図2)



気密試験及び作動確認



調整器の設置工事終了時には、必ずLPガス法で定められたガス配管の気密試験を実施し、漏れのないことを確認してください。



周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアージェットを行ってください。



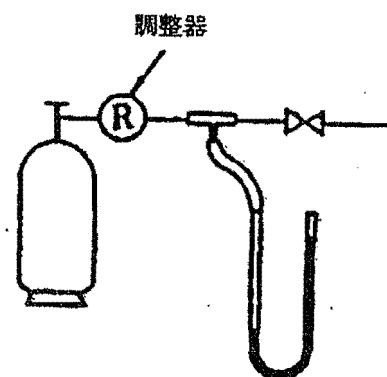
燃焼器に点火し、ガスが正常に燃焼することを確認してください。



調整器出口又はガスメータ入口における調整圧力 (2.3 ~ 3.3 kPa) が正常であること、設置された最大燃焼器のガス使用時の入口圧力が2 kPa以上であることを検査し、調整器が正常に作動することを確認してください。

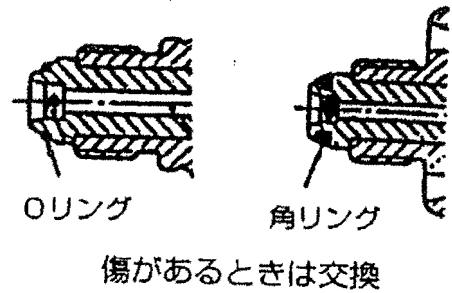


ガスの使用を停止し、閉そく圧力が3.5 kPa以下であることを確認してください。



容器用バルブとの接続部からガス漏れを防止するため、調整器入口部のOリング（又は角リング）を傷つけないように注意してください。

傷・ひび割れ・変形等の異常があるOリング（又は角リング）は、直ちに新品のOリング（又は角リング）に交換してください。



調整器入口部のPOLねじに傷や変形があるものは、無理な力で締付けずに、新品の調整器と交換してください。

安全のために調整器や容器の周囲に物を積み上げないでください。

容器交換時には、調整器及び高圧ホースの内部に砂粒、ゴミ等の異物が入らないように注意してください。

容器用バルブに調整器入口側を直結して容器交換を行う場合、POLねじ部の脱着前後に調整器本体を持って無理に位置合わせをすることは、ガス漏れの原因になりますので、絶対にしないでください。



検知液で漏れの有無を確認する

容器交換作業の終了後には、検知液等を用い、調整器本体や容器との接続部からガス漏れのないことを必ず確認してください。

調整器は製造後10年経過したものは、性能低下が予測されますので新品と交換してください。

